

新年の挨拶



飯塚市長
武井 政一



新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年11月で就任から1年が経過し、市政運営を担うことの重責とやりがいを感じたところであり、改めて、今年を「本当のスタート」として、誠心誠意、努めて参る所存でございます。

昨年は、市民の皆さまの生活を守るための公約としておりました生活応援クーポンの再発行、第2子以降保育料の無償化、地

飯塚市議会議長
江口 徹



あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和7年を迎えるにあたり、市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、様々なイベントが各地域で開催され、飯塚国際車いすテニス大会や山笠、花火大会、街道まつりなどのイベントが開かれるたびに、市民の皆様笑顔が多く見られたことは大変嬉しく、晴れやかな気持ちになりました。

また、生涯スポーツの拠点として飯塚グランドゴルフ場が完成し、健康維持・仲間づくりの場として市民の皆様にご利用いただく事を期待しております。

しかし、その一方で、市民生活に大きな影が近づきつつあります。

場産業への支援などを実施してまいりました。

過去には、「本当に住みやすい街大賞2023 in福岡」において「新飯塚エリア」が県内第3位となるなど、評価を頂くことができました。現在は、本市の中心拠点の1つである「飯塚駅」を拠点としたまちづくりの推進を図るため、令和8年度完成を目前に飯塚駅周辺地区の整備を進めているところです。

また、今年度中には八木山バイパス（篠栗IC↔筑穂IC間）の4車線化整備が完了し、福岡都市圏との物流や人流の促進により、本市への好影響が期待されているところで

す。本市は、これまでの定住促進等の取組により、人口減少が課題である地方都市にあって、転入者数・転出者数の差で示される「社

昨年度に示された財政見直しでは、財政赤字が続くことから、数年後には市の貯金と言えぬ財政調整基金や減債基金はほぼなくなる見通しとなり、財政の立て直しが急務となりました。

さらに、本市の出生数も1000人を割り込むなど、人口減が続いており、地域経済の活性化や雇用機会の創出、地域産業の担い手確保も大きな課題です。また、昨年の夏も猛暑となり、日本各地で最高気温が更新されている状況にあり、熱中症警戒アラートが頻繁に発表され、「危険な暑さ」という言葉も珍しいものではなくなりました。この危険な暑さから自分の身を守らなければならぬ時代、市全体で気候変動に対応する時代になっていきます。こういった厳しい時代の中、私たち飯塚

会増減」においては、令和4年から増加に転じ、令和5年においても継続して増加し、県内でも上位の社会増数となりました。

今後とも市政発展の流れを止めることなく、「未来を担う子どもを育む教育のまち」、「高齢者が安心して暮らせる福祉のまち」、「地元で働く場所がある活力あるまち」、「文化やスポーツが盛んな健康なまち」を4つの柱としたまちづくりの取組を「進化・発展」させ、本市の潜在力を引き出し、価値を更に高め、魅力ある元気な飯塚市の実現を目指してまいります。

結びに、すべての市民の皆様にとりまして本年が素晴らしい年となりますよう、皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

市議会は、市民の皆様を不安を少しでも解消するために、市長の提案される予算案や条例案を審議、決定するだけではなく、様々な観点から政策提案を重ね、本市のこれらの取組について、市民の立場からしっかりと検証してまいります。

皆様の暮らしや地域の未来を守るのは政治の責任です。

その責任を果たすべく、これからも本市発展に資するため、議会のあり方について、時代に合わせた見直しを行い、市民に開かれた議会を目指してまいります。

結びに、皆さま方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、この新しい年が皆さまにとって素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。